

— 告 告 —

KIT  
キャンパス  
レポート ④  
文：出島二郎  
マーケティングプランナー



島田 高行 (しまだ たかひろ)  
金沢工業大学大学院工学研究科  
ビジネススクールの専攻  
博士前期課程一年  
滋賀県立石山高等学校出身

## 三月から休校中の小中高生に オンラインでSDGs学習支援を。

大学に入ってから、優秀な成績をとり、優良企業に就職したいと考えるのが一般的であろう。島田さんもそうだった。しかし金沢工大で学び、長期休暇は海外に出て、自身の人生を見つめ直すようになった。勉強も大事だがキチンとアクションをおこせることの方が、自分にとって意味があると。

「経営学に加えてプログラミング

クなどの情報系も同時に学べるので、金沢工大の経営情報学科を選択。そしてプロジェクトデザインの授業で平本先生に出会い、一年次から研究室に出入りさせてもらいました。そこでSDGsを知り、三年の時に仲間たちと学生プロジェクトとしてSDGs Global Youth Innovatorsを立ち上げました。SDGsを広めること、アクション

を起こすことが活動の軸です。」

学部・学科を超えた約五十名を束ねる島田さんの行動力がすごい。SDGsに特化したラジオ番組の制作、ジャパンSDGsサミットの企画運営、ビジネスコンテスト、全国の学校や企業でのワークショップ、ドイツで開催された国連主催の「SDGs Global Festival of Action」で公認ワークショップの開催、「THE SDGsアクションカードゲームX」の制作など。

「今年は新型コロナウイルスの影響で休校中の小中高生を対象に、オンラインでSDGsの学習支援を始めました。中高生中心かと予想しましたが、小学生が六割、しかも低学年が多いのでビックリ。モンゴルのシンガポールに住む日本人の子供たちも参加して。いずれはメンバーシップ制度を設けて、一緒に活動できればいいな。」

島田さんの卒業論文のテーマは「中小企業のアップサイクル製品

における効果的な販売手法に関する研究」である。指導する平本督太郎准教授の専門は経営戦略全般、SDGsビジネス、新興国・途上国ビジネス、次世代リーダー育成。

SDGs推進センター長を務める。「平本先生は、本気でやりたいことを伝えたら必ず実現してくれるし、学生を信頼してくれる。自分に何ができるのか、何をしたいのが大事だと言います。ほくは、価値観は人それぞれ違うけれど、その人に合った勉強方法や仕事のライフスタイルを実現できるようなコンテンツやサービスをつくれたらおもしろいな。」

院で研究とSDGsの活動を続け、さらに会社を立ち上げたいという島田さん。既成概念にとらわれず、新しい視点で生きようとする青年がここにいるのだと思った。

### 金沢工業大学

石川県野々市市扇が丘五七一  
電話番号(〇七八)二四八二〇〇